

## 各種健診等のご案内

健診等の日程は p.32 町内イベントカレンダーをご覧ください。

町のホームページから  
でも確認できます→



乳幼児健診  
各種事業



各種健康診査

### <注意>

- ・乳幼児健診と BCG 予防接種は対象者へ個別にご案内します。
- ・健診を希望する方は、健診日の 1 週間前までに健康推進係へ申し込みください。
- ・特定健診やがん検診は、町内イベントカレンダー以外の日程でも受けることができます。

## 急病時・夜間の相談先

### ■ 救急安心センターさっぽろ

24 時間・365 日、看護師が相談に対応。受診可能な医療機関をご案内します。

- ・電話番号 # 7119 または 011 - 272 - 7119

### ■ こども医療でんわ相談

症状に応じた一般的な対処・助言を看護師等から受けられます。診断・治療はできません。

- ・受付時間 19 時～翌朝 8 時
- ・電話番号 # 8000 または 011 - 232 - 1599

### ■ 北海道救急医療・広域災害情報システム

緊急時に受診可能な道内の病院を 24 時間（年末年始などの連休も可）検索できます。

- ・フリーダイヤルは 0120 - 20 - 8699
- ・携帯電話からは 011 - 221 - 8699
- ・インターネット検索は <http://www.qq.pref.hokkaido.jp>

## 休日・夜間の受診先

### <休日・昼間>

日曜・祝休日は江別市内内科小児科休日急病当番をご利用ください。詳細は p.32 町内イベントカレンダーをご確認ください。

乳児の場合は一部の医療機関で事前連絡が必要となりますので、ご注意ください。

町のホームページから  
でも確認できます→



急病当番医

※ 医療機関の都合により、変更となる場合があります。最新情報は新聞紙上や救急安心センターさっぽろ、北海道救急医療・広域災害情報システムでご確認ください。

### <夜間>

#### ■ 江別市夜間急病センター **内科** **小児科**

- ・住所 江別市錦町 14 - 5
- ・受付時間 18 時 30 分～翌朝 6 時 30 分(年中無休)
- ・電話番号 011 - 391 - 0022

#### ■ 勤医協中央病院 **内科**

- ・住所 札幌市東区東苗穂 5 条 1 丁目 9 - 1
- ・受付時間 19 時～翌朝 9 時(年中無休)
- ・電話番号 011 - 782 - 9111

## 近くの医療機関案内

診療時間は、町のホームページに掲載しています。少し遅い時間に診療している医療機関もありますのでご確認ください。

## 予防接種（個別）・健診 実施医療機関

ご希望の方は、事前にお申し込みください。

医療機関名	電話番号 (札幌市外局番 011)	予防接種					健診 特定健診・ 後期高齢者健診・ 肝炎ウイルス検診
		4・5種混合・ ヒブ・ 水痘・MR・ DT	小児肺炎 球菌・ B型肝炎・ ロタ	日本脳炎	高齢者 肺炎球菌	子宮頸 がん	
勤医協当別診療所	23 - 3010	●		●	●		●
さいわい内科消化器クリニック	27 - 7591				●		●
スウェーデン通り内科循環器科クリニック	25 - 3151	●	●	●	●	●	●
田園通りさわぎき医院	25 - 2055	●	●	●	●		●
当別あんしんクリニック	27 - 8012	●	●	●	●	●	●
とうべつ内科クリニック	22 - 1313				●		●
とうべつ整形外科	25 - 5040			6歳～	●	●	
北海道医療大学病院(札幌市北区)	778 - 7575	●	●	●	●	●	●

※小児科定期予防接種(子宮頸がん除く)は、江別市内の小児科6カ所でも接種可能です。

## 熱中症を予防しよう！

### 去年の夏は暑かった！

令和5年7月から8月の真夏日は25日間、そのうち猛暑日は2日間あり「長く、暑い夏」でした。（気象庁新篠津気象観測所データ）また、熱中症による搬送人数もここ数年で一番多い状況でした。

町内の熱中症による搬送人員 (毎年5月1日～9月30日の搬送数)				
年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
人数	5人	14人	3人	27人

(当別消防署より情報提供)

### 熱中症の予防と対策

今年も「暑い夏」が予想されています。予防と対策を再確認しましょう。

#### ①暑さに負けない体づくりを続けましょう

気温が上がり始める前から、日常的に適度な運動をする、3食しっかり食べる、十分な睡眠をとる等暑さを乗り切る体づくりをしましょう。

#### ②特に注意が必要な場面での行動

暑い時期や炎天下、空調設備のない環境でのスポーツや作業を行う際は、熱中症の危険から身を守るための予防策が必要です。暑さの感じ方は人それぞれで、その日の体調によっても変わります。感覚だけで判断せず、温度計や湿度計で確認しましょう。

喉の渇きを感じていなくても、水分が足りていない場合があります。1日の水分摂取の目安量は1.2～1.5ℓです。飲み物を持ち歩き、こまめに水分補給をしましょう。

熱中症警戒アラートの発表時は、外出をなるべく控える選択をしましょう。

#### ③日々の生活の中での工夫点

自宅等室内でも、温度や湿度をいつも気にするようにしましょう。気温や湿度が高い日は無理な節電はせず、扇風機やエアコンを活用しましょう。

衣類は吸汗・速乾素材や通気性の良い、ゆったりとしたものを選びましょう。最近は、冷却タオルやネッククーラー等熱中症対策のグッズが豊富です。うまく活用しましょう。

乳幼児や高齢者、病気や障がいがある方等も発症のリスクが高いため、周りの人にも気をかけて、みんなで暑い夏を乗り切りましょう。

環境庁からの「暑さ指数」や「熱中症警戒アラート」等の情報をメールやLINEで受け取る方法もありますので活用しましょう。



#### ▼問合せ

保健福祉課健康推進係（ゆとろ内・☎23-4044）

環境省熱中症  
予防情報サイト

広告

広告

広告